



〈わ〉 会員1235人に

グループ〈わ〉の会員が、3月末で1235人となりました。毎年、100人ほどだった新入会員が180人と好調で、16期だけでも146人の入会がありました。東北支援活動に関心を持っていただけたのではないかと分析しています。

今年も東北支援活動を継続するほか、各サークルと協力して各種のイベント、学習支援活動などを幅広く展開します。卒業後の人生を更に豊かにするために、〈わ〉の仲間に加わって活躍しませんか。年会費は1人1500円（保険500円・地区会とサークルへの助成が各400円・広報誌送料200円）です。問い合わせは〈わ〉事務局（743-8101）へ。

クラブガイド2012年版発行

グループ〈わ〉は9区会・57サークルで多彩な活動をしています。どんな同好会やサークルがあり、どういう活動をしているのか、という声にこたえて、「クラブガイド 2012年版」（A4判20ページ）を発行しました。区会・クラブの現状、各委員会・プロジェクト・本部事業の仕組みなど、〈わ〉の活動を一覧にしてわかりやすく説明しています。新たなチャレンジのために、クラブの情報を共有するために、ご活用ください。各区会・サークルに配布していますが、ご希望の方は〈わ〉事務局までお越しください。

HP委員会のメンバー交代

グループ〈わ〉ホームページ委員会のメンバーが新年度から交代することになりました。新メンバーは、西山久雄（園16）、小畑浩昭（国16）、芦田義和（生15）南形徹（生14）。いずれも広報委員と兼務です。平成18年からホームページ作業を担当してもらっていた上田隆三氏（生8）北田正文氏（食7）を講師役に、3月から引き継ぎの研修を受け、4月から独り立ちしたものです。〈わ〉のHPは広報誌「ぎやらりー わ」、区会・部会報告、お知らせが主な内容です。

●『ぎやらりー わ』原稿募集

区会やサークルの活動レポート・ボランティア日記・エッセー・旅行記・写真・ご意見などをお寄せ下さい。500字～900字程度。HPにも掲載します。広報誌を読んでの感想、企画の提案も歓迎します。

●『ぎやらりー わ』59号は7月上旬発行です。

〈わ〉のメールアドレス=わ本部 group_wa@wa-net.jp

情報ぎやらりー wa_gallery@wa-net.jp

笑顔で〈わ〉を明るく

つぶやき

〈わ〉の事務所って暗いなあ。もっと明るい雰囲気にならないかしら？ 会社じゃないんだから、和気あいあいと仕事をしようよ…。

理事になった時、そんなことを感じて、この4年間、〈わ〉のお手伝いをしてきました。健康のこと・家族のこと・年金のこと…先々の心配・不安は尽きません。事故や暗いニュースが多い中、心の癒しはとても大切なことだと思います。音楽もいいし、お花もいいのですが、私は“笑顔の癒し”が一番だと思います。

明るいところに虫が寄ってくるように、〈わ〉を癒しのスペースにしたい—私が日頃、心がけているキーワードはこんなことです。

* 〈わ〉への来客には、やさしく声掛けを

* 孫や子供たちにいつも言っている笑顔を実践！

* 癒される受け身でなく、自分の好きなことをして自らを癒し、今日を楽しむ！

* ステキな人（生き物）に興味、関心をもとう！

* 仕事出来る幸せに感謝、感謝！

理事の皆さん、笑顔で明るく、をモットーにしましょうね。（事業担当・一森美代子）

編集後記



★東北支援活動をもう1年続けよう—グループ〈わ〉は思い切った決断をしました。物心両面でかなり負担になりますが、昨年の経験と会員の皆さまからの声援が背中を押してくれた感じです。被災地の方々や子供たちとの“顔の見える交流”をさらに広げたいと思っています。オールKSCの皆さまのご支援をお願いします。

★カレッジ北側の里山「花実の森」の整備が進んでいます。ベンチ・案内板・遊歩道…楽しいプランが少しずつ形になっていきます。四季が楽しめる体験学習の場に、魅力ある里山に…と、プロジェクトチームが張り切っています。小誌でも、写真や記事でその状況をお伝えしていきます。

★各々の小さき胸に火をかざし…ある歌人の一節が浮かんできます。志を貫いて日々ボランティアを続け、地域や施設から感謝されている会員はたくさんいらっしゃいます。そうした方々のごく一部ですが、今年度の表彰者が決まりました。皆さまの活動の励みになればと願っています。（広報担当・南形 徹）